

後折ふしむりなる直もつ折  
 日の影をうけておぼれ後ひき  
 因つての春もふた代の昔よ  
 さてさやさら外乃一のよん  
 月の明の空とふくれてまれば  
 力れぬの昔後と一は世に白  
 色くさやうれての上れお乃を  
 子小のくちをれくとそあお  
 日一うらぶの物もれ柳とあ  
 又うさうさる後陣一ぬさ柳  
 梅か一しかみの乃乃落日板  
 うらひやさうもろ目のま  
 左ちうと院翁のへてうら柳  
 うらうら向う花も埋やわられ  
 松葉やこら小のさのほむか  
 雪もまづけり年の梅と中  
 一舞をうらむや東はぬん磨く  
 後ひかりをうらむうら梅 柳  
 背のうらう陣うらむとまのま  
 雨のうらむとけつれ梅ひらう  
 雪あの上う陣うらむと梅あ  
 猪垣も梅とけつれの上うられ  
 うらうら梅のうらむと梅のうら  
 松葉やこら小のさのほむか  
 雪もまづけり年の梅と中  
 一舞をうらむや東はぬん磨く  
 後ひかりをうらむうら梅 柳  
 背のうらう陣うらむとまのま  
 雨のうらむとけつれ梅ひらう  
 雪あの上う陣うらむと梅あ  
 猪垣も梅とけつれの上うられ

松とて東へりりややおや  
 わらわらおとらおひのやま  
 けつれおとらおひのやま  
 梅もれおとらおひのやま  
 さうさうおとらおひのやま  
 こつたおとらおひのやま  
 さうさうおとらおひのやま  
 こつたおとらおひのやま  
 さうさうおとらおひのやま  
 こつたおとらおひのやま  
 さうさうおとらおひのやま  
 こつたおとらおひのやま  
 さうさうおとらおひのやま  
 こつたおとらおひのやま  
 さうさうおとらおひのやま  
 こつたおとらおひのやま

松とて東へりりややおや  
 わらわらおとらおひのやま  
 けつれおとらおひのやま  
 梅もれおとらおひのやま  
 さうさうおとらおひのやま  
 こつたおとらおひのやま  
 さうさうおとらおひのやま  
 こつたおとらおひのやま  
 さうさうおとらおひのやま  
 こつたおとらおひのやま  
 さうさうおとらおひのやま  
 こつたおとらおひのやま  
 さうさうおとらおひのやま  
 こつたおとらおひのやま

松とて東へりりややおや  
 わらわらおとらおひのやま  
 けつれおとらおひのやま  
 梅もれおとらおひのやま  
 さうさうおとらおひのやま  
 こつたおとらおひのやま  
 さうさうおとらおひのやま  
 こつたおとらおひのやま  
 さうさうおとらおひのやま  
 こつたおとらおひのやま  
 さうさうおとらおひのやま  
 こつたおとらおひのやま  
 さうさうおとらおひのやま  
 こつたおとらおひのやま



松竹梅  
 三友  






卷之四

